

今日のキーワード 本格化する米国の「大統領選挙」(米国)

米国は、民主党と共和党の二大政党制であり、大統領はこの二大政党の候補者から選ばれます。選挙は各州ごとの代表者である選挙人によって投票が行われる間接選挙です。任期は4年で、2期まで務めることが認められています。今回の「大統領選挙」は、2月1日のアイオワ州党員集会で幕を開け、7月の全国大会で民主・共和党の大統領候補が決定します。「大統領選挙」の投開票は11月8日の予定です。

ポイント1

「大統領選挙」は、これから本格化

3月1日のスーパーチューズデーで大統領候補はほぼ確定

- 「大統領選挙」はアイオワ州の党員集会で、本格的なスタートを切ります。党員集会では十数名から数百名規模の地区党員集会で代表を選び、それを州全体でまとめて代表を決めます。今回は民主党、共和党とも2月1日に開催。この集会を皮切りに、全50州で党員集会あるいは予備選挙が行われます。
- 特に多くの州で予備選挙が実施される3月1日はスーパーチューズデーと呼ばれ、この日で大統領候補がほぼ決まります。これらの予備選挙を経て選出された大統領候補が、7月の民主党および共和党の全国大会で党の大統領候補として正式に選出されます。これで民主党と共和党の直接対決が始まります。「大統領選挙」の投票日は11月8日で、新大統領の就任式は2017年1月の予定です。

ポイント2

民主党はサンダース議員がクリントン前国務長官を追い上げ

共和党は混戦状態

【米国大統領選挙の日程】

- 大統領の候補者を見ると、民主党はヒラリー・クリントン前国務長官の独走状態にありましたが、ここへきて左翼系のバーニー・サンダース上院議員が急速に追いついてきました。
- 一方、共和党は混戦状態にあります。支持率では引き続きドナルド・トランプ氏がトップに立っていますが、党大会まで正式候補が決まらないリスクがあります。候補者の乱立が党内分裂を物語っているといえるかもしれません。

年・月・日	予定
2016年 2/1	アイオワ州党員集会 (民主党・共和党)
2/9	ニューハンプシャー州予備選挙
3/1	スーパーチューズデー
6月	予備選終了
7/18~21	共和党全国大会
7/25~28	民主党全国大会
10月ごろ	大統領候補討論会
11/8	大統領選挙 (一般有権者による投票)
2017年 1/20	大統領就任式

(出所) 各種報道を基に三井住友アセットマネジメント作成

今後の展開

各候補の掲げる政策に注目

■現時点ではクリントン氏が有利

知名度や資金力などから総合的に判断すると、現時点では、最終的にヒラリー・クリントン氏が大統領選挙で勝利する可能性が高いと判断されます。

■候補者の掲げる政策を見極める必要

政策については、両党とも本選挙まで明らかにしないようです。選挙戦の進行とともに、各候補者の掲げる公約を見極めていく必要があります。

ここも チェック!

2016年1月12日 米国の雇用統計 (2015年12月)

2016年1月 8日 FOMC「議事要旨」(米国)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。